

令和5年春期 六浦東地区推進連絡会要旨

1 日時

令和5年5月16日（火）19:00～20:30

2 場所

関東学院大学 金沢八景キャンパス Foresight21・10階 中会議室

3 参加者

(地域側) 自治会等地域団体関係	14名
学校関係 (六浦中学校、関東学院大学)	3名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	11名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	8名
消防関係	2名

4 意見交換要旨

(1) 防犯灯について

(地域)

中学校で、地域の課題と問題点について生徒と話をしたところ、生徒から道路が暗いという意見がでた。金沢防災えんづくり補助金の制度を利用して、通学路の暗いところの近くにある個人宅にセンサー式の照明器具を設置することはできないのかと考えている。

電柱等への防犯灯の設置申請に当たっては、防犯灯の設置数の基準を満たしており、これ以上、照明を増やせない。個人宅に設置させてもらうしか方法がない。何か補助金、例えばえんづくり補助金などで支援してもらえないか。

(区役所)

金沢区防災えんづくり補助金は、防災目的の補助金であるため、防犯灯については対象にならない。現在、個人宅の照明灯を防犯に使うことを支援する制度はないが、地域振興課で情報共有し、課題として考えていきたい。

(2) 六浦東地区地域緑化計画について

(地域)

六浦東地区地域緑化計画は、瀬ヶ崎小学校の小学生と南共済病院とのやりとりの中で、「病院の周りに緑が無いね」という話があったことがきっかけとなって始まったもの。関東学院大学の協力を得て「地域緑のまちづくり事業」に応募したところ計画が認められ、3年間で1,500万円の助成金をもらって取り組むことになった。景観木の保全のほか、病院の周りの公開空地に緑を植えて日かげをつくる、商店街に花壇を設置する等、緑を増やし住みやすいまちにしたいと考えている。今後、具

体的な活動について計画を立て、進めていきたい。

(関東学院大学)

地域緑のまちづくり事業は環境創造局の事業で、まちづくりのために助成していただく制度。街中をお花と緑の美しいまちにしようと頑張っている地域団体等に助成するというもの。六浦東地区をお花あふれる緑のまちにしようというコンセプトをつくり、いろいろなプログラムを考えて申請した。もともと南共済病院には地域の方と交流したいという思いがあり、お花を植えるなど瀬ヶ崎小学校と一緒にイベントをやってきた。これを活かしながら、広場に日陰ができる場所、座れるような場所、ほっとできる場所をつくろう、そのために緑化活動をしようとなっている。今後、詳しい説明会をする。助成金をもらえるのは3年間で、これはあくまでスタートアップの助成金。その後も活動を継続できる地域を目指す。そのために皆さんと力をあわせて作っていきたい。

(3) 学援隊について

(地域)

通学路の安全を守るため、ボランティアで学援隊をやっている。高齢化により構成員が減り現在8名で頑張っている状況。若い方も歓迎。やってくれる人がいたら連絡いただきたい。

(4) 区役所からの資料配布について

(地域)

先日の地区定例会で、「掲示板に貼るものは仕方ないが、その他の閲覧資料については、紙ではなく電子データでの配布でもよいのでは」と区役所に提案した。できることからやってほしい。

(5) 金沢区予算について

(地域)

予算の話聞いて本当にできるのかと感じた。昨年度までできていたのか。満足度や効果はどうか。

(区役所)

一つ一つの事業について、昨年度実施したところの満足度や効果については今すぐにはわからないが、参加された方は満足度が高かったのではないかと考える。

(六浦中学校)

区の予算の金沢防災“えん”づくり事業について、昨年度、本校では「町内の方と一緒に自分の町内会を知ろう」という取組をやり、非常によかった。それが安心なまちづくりという今年度の取組につながっている。東日本大震災を知らない世代が中学生になっている。今年度もこの事業を活用し、東日本大震災を経験した人のメッセージを子どもたちに見せようと企画している。